

第 38 回 歴史地震研究会 総会資料

日時：2021 年 9 月 3 日（金）

場所：オンライン開催

総 会 次 第

開会

定足数確認、会長挨拶

議長選出

第一号議案 2020 年度事業報告および決算報告

幹事会から 2020 年度事業報告および決算報告を説明し、承認を求めます。

監査役から会計監査報告について説明があります。

第二号議案 会長選出

幹事会に届け出があった立候補者について説明します。会長の選出を求めます。

第三号議案 監査役選出

幹事会に届け出があった推薦について説明します。監査役の選出を求めます。

2021 年度会長挨拶、2021 年度役員指名

第四号議案 2021 年度事業計画および予算案

幹事会から 2021 年度事業計画および予算案を提案し、承認を求めます。

議長解任

閉会

第一号議案 2020年度事業報告および決算報告

1. 2020年度事業報告

2020年度（2020年8月1日～2021年7月31日）は、以下の事業を行った。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 歴史地震研究会（オンライン伊賀大会）の開催

以下の通り、第37回歴史地震研究会（オンライン伊賀大会）を開催した。

主催：歴史地震研究会

会場：オンライン

日程：2020年9月26日（土）～28日（月）

26日：研究発表会

27日：研究発表会

28日：研究発表会・総会

参加者は会員96名、非会員5名、招待2名の計103名だった。発表数は口頭30件、ポスター9件、発表要旨4件。

② 歴史地震研究会（苫小牧大会）の開催準備

第37回歴史地震研究会（苫小牧大会）の開催に向けて準備した（以下は当初案）。

主催：歴史地震研究会

会場：苫小牧市文化交流センター アイビー・プラザ

日程：2021年9月2日（木）～5日（日）

2日 13:30～17:30：研究会

3日 9:15～17:30：研究会・総会

4日 9:15～11:45：研究会, 14:00～16:00：公開講演会

5日 巡検

現地での開催を予定していたが感染症の拡大によりオンラインにて開催することを7月20日の幹事会にて決定した。研究発表会には発表申込みが42件あり、口頭33件とポスター9件からなるプログラムを編成した（変更後）。

(2) 会誌の刊行

2021年7月末に『歴史地震』第36号を発行した。論説11編、資料5編、報告2編、訂正0編、講演要旨33編、研究会記事1編を掲載し、総頁数は295ページであった。

発行部数は437部。発行時の会員（長期会費未納会員を除く）267名および無償送付先（大学・公立図書館等）122箇所を送付した。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、以下の活動を行った

① 歴史地震研究会ホームページ

ホームページを運用中である。2020年度中の主な更新内容は、『歴史地震』35号(2019)のPDF版の掲載準備、総会と幹事会議事録の掲載、第38回歴史地震研究会(苫小牧大会)の案内の掲載である。

② 大会の周知

大会への発表募集・会場等の案内や公開シンポジウムについて、日本地震学会・日本活断層学会・日本第四紀学会・日本地質学会・史学会・日本史研究会・地方史研究協議会等へニュースレター・メーリングリスト・ホームページ掲載および掲示を通して告知を行った。

③ メーリングリストの管理

研究会メーリングリストおよび「musha」への登録・更新・不達のチェック、メーリングリスト規約の改正などを行った。

(4) その他

① 総会

2020年9月28日(月)に総会が招集された。総会参加者は40名であった。総会議事録は、ホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』36号に収録した。

② 幹事会

2020年度は、以下7回の幹事会を行い、歴史地震研究会の運営・事業について議論した。監査役には幹事会への出席を求め、適切な審議が行われるように努めた。幹事会の議事録をホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』36号にも収録して会員に審議内容を伝えた。

2020年8月4日(2020年度第1回歴史地震研究会幹事会)

2020年9月8日(2020年度第2回歴史地震研究会幹事会)

2020年10月23日(2020年度第3回歴史地震研究会幹事会)

2020年12月25日(2020年度第4回歴史地震研究会幹事会)

2021年4月27日(2020年度第5回歴史地震研究会幹事会)

2021年6月18日(2020年度第6回歴史地震研究会幹事会)

2021年7月20日(2020年度第7回歴史地震研究会幹事会)

③ 社会貢献活動

3月11日を「防災教育と災害伝承の日」とすることを提唱するとともに、防災教育と災害伝承活動のさらなる実践を全国に呼びかけた。

2. 2020年度決算報告

2020年度(2020年8月1日~2021年7月31日)の決算は次表のとおり。

歴史地震研究会 2020年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2020年度会費	948,000	980,000	32,000	4000円×245名
	2019年度会費	0	32,000	32,000	4000円×8名
	2021年度会費	0	44,000	44,000	4000円×11名
	会誌バックナンバー代	0	24,820	24,820	会誌22部(送料込)
	寄付金	0	20,000	20,000	小磯修一会員
	前年度繰越	2,749,635	2,749,635	0	
	合計	3,697,635	3,850,455	152,820	

支出	2020年度オンライン伊賀大会関係費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	次年度以降大会準備費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	歴史地震36号印刷・発送代	765,000	784,740	19,740	437部, 振込送料440円込
	同編集費	25,000	10,220	▲ 14,780	編集補助, 振込送料220円込
	HP管理費	20,000	9,440	▲ 10,560	振込送料220円込
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	18,231	▲ 11,769	資料送付料・切手代・他
	合計	1,140,000	822,631	▲ 317,369	

次年度繰越金		2,557,635	3,027,824	470,189	
--------	--	-----------	-----------	---------	--

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第18条第2項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第18条第4項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。

第四号議案 2021年度事業計画および予算案

1. 2021年度事業計画案

2021年度(2021年8月1日～2022年7月31日)は、以下の事業を行う計画である。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 第38回歴史地震研究会（オンライン苫小牧大会）の開催

第38回歴史地震研究会（苫小牧大会）を苫小牧市において開催予定であったが、感染症拡大のため、懇親会、巡検を中止し、オンライン苫小牧大会と改称して研究発表会と総会をオンラインで開催する。

② 第39回歴史地震研究会の開催準備

以下の要領で第39回歴史地震研究会を開催するために必要な準備を行う。

会場：関西大学高槻ミュージックキャンパス（予定）

日程：2022年9月17日（土）～19日（月）（予定）

公開講演会、研究発表会、懇親会、総会、巡検

③ 第40回歴史地震研究会の開催準備

第40回歴史地震研究会を開催するための候補地選定および日程調整などの準備を行う。

(2) 会誌の刊行

会誌『歴史地震』第37号を2022年7月末頃に発行する。第38回歴史地震研究会での発表に基づく論文を中心に募集するが、第37回以前の歴史地震研究会での発表に基づく論文や、未発表原稿についても募集を行う。編集作業は会誌編集規定に沿って行う。『歴史地震』第37号の原稿の締め切り日は2021年11月30日（火）である。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、歴史地震研究会ホームページと連絡用メーリングリストの運営・管理を行う。なお、会員向けのお知らせは、件名に「[mem_hes:*****]」（*****は通番）がついているメールである。未登録者は連絡いただきたい。通常は幹事会からの案内のために使用し、配信には広報担当の確認が必要である。また、メーリングリスト **musha** についても運営・管理を行う。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する。

(5) その他

上述の各項に関して、適切な審議を行うため、2021年9月3日（金）の総会および監査役を招いた年間5回程度の幹事会を開催する。

2. 2020 年度予算案

2021 年度（2021 年 8 月 1 日～2022 年 7 月 31 日）の予算案は次表のとおり。

歴史地震研究会 2021年度 予算案

項目		金額	内訳
収入	2021年度会費	1,004,000	4000円×251名(会員263名-納入済み12名)
	前年度繰越	3,027,824	
	合計	4,031,824	
支出	2021年度オンライン苦小牧大会関係費	50,000	
	次年度以降大会準備費	50,000	
	歴史地震37号印刷・発送代	810,000	1800円×450部
	同編集費	25,000	査読料, 編集補助謝金等
	HP管理費	10,000	
	会議費	200,000	
	功績賞関連費	100,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	
	合計	1,275,000	
次年度繰越金		2,756,824	

説明資料

(1) 2020 年度会計監査報告書

歴史地震研究会
会長松浦律子様


2020年度会計監査報告書

歴史地震研究会2020年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常適正に処理されていることを確認いたしました。 ここにご報告いたします。

以上

2021年 8 月 7 日

中村 操  会計監査

植竹 富一  会計監査

(2) 会員の現況及び会費受取状況

昨年の総会で報告された会員数 260 名に対し、2020 年度には以下に示す新規入会者 9 名、退会者 5 名及び休会者 1 名があった。さらに 2020 年度会費の滞納によって 2021 年度の会員特典を停止された 8 名を減じ、2020 年度の会員特典停止からの復活 8 名を加えて、2020 年度末の会員数は 263 名となった。また 2019 年度以降の会費が未納の会員 7 名は、会則第 11 条第 2 項に則り除名とした。一方、2020 年度会費は 268 名からの受取があり、これは 2020 年度末に会費納入義務のある会員 276 名（2019 年度末会員 260 名＋入会者 9 名＋復活 8 名－休会 1 名）の約 97%に相当する。

会員の現況

2019年度末会員数	260名
2020年度末会員数	263名
増減	+3名

会員数増減の内訳

■新規入会者：9名

杉森玲子 篠田海遥 相京邦彦 上村勇輔 水野 嶺
 吉岡誠也 中野祥房 中垣達也 中臺裕美
 （敬称略，申請順）

■退会者：5名（うち1名は2020年度において休会）

木村昌三 八柳信之 土岐田正勝 牧山隆洋 峰岸純夫
 （敬称略，申請順）

■休会者：1名

坂井誠仁 （敬称略）

■2020年度会費滞納につき2021年度会員特典停止：8名

■2019年度会費納入につき2020年度会員特典復活：8名

会費受取状況

2020年度会費	268名（会員276名*1の97%）
2021年度会費	12名
2020年度会費未納	8名

*1) 2019年度末260名＋入会9名＋復活8名－休会1名

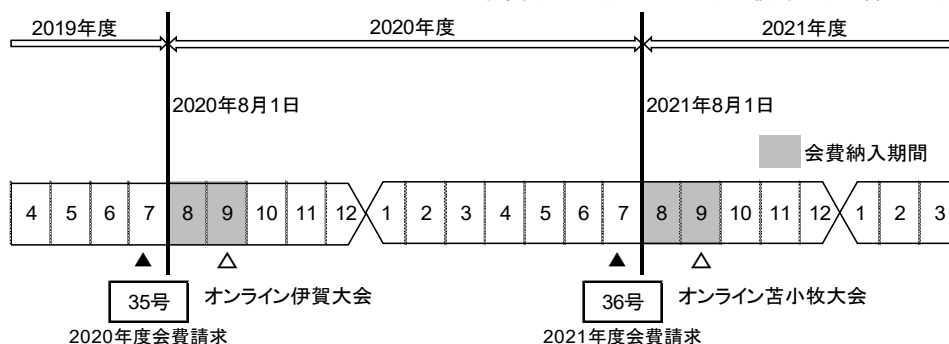


図1 歴史地震研究会の会計年度と年会費の納入期間

(3) 2020 年オンライン伊賀大会の収支報告

2020 年オンライン伊賀大会（2020 年 9 月 26 日～28 日）においては、参加費等の収入及び大会会場費等の支出の両方がゼロであった。